

評価基準

審査基準		配点	
事業目的との適合性	【事業目的の理解】 本事業の目的・背景を十分に理解した上で、文化資源の魅力がより深く伝わり、地域内の回遊性向上につながる内容として提案されているか。	20	35
	【データの利活用・継続運用性】 アーカイブデータは汎用性が高く、継続的な追加及び運用しやすい形式となっているか。また、デジタル閲覧基盤における利用者データの取得・分析方法が適切であり、その結果をアーカイブ内容や周遊体験の改善に反映し、継続的な見直し・改善（PDCA）が可能な仕組みとなっているか。	15	
体験価値・利用者志向	《アーカイブ》		40
	【利用者体験の内容】 ※技術点 アーカイブの分類や構成は、来訪者にとってわかりやすくストーリー化されていて、かつ興味を引くものとなっているか。	10	
	【映像制作の構成】 ※技術点 選定した文化資源に訴求力があり、かつ継続的に多用途でも活用しやすい内容となっているか。	10	
	《デジタル閲覧基盤（Web アプリケーション）》		
	【体験設計の工夫】 利用者が有田を中心に巡りたくなる導線や独自性が感じられ、デジタルならではの体験価値向上が期待できる内容となっているか。また、一過性の利用に留まらず、有田町を訪れる来訪者が、長期にわたり自然に利用し続けられる仕組みが設計されているか。	10	
	【興味・理解の深化】 旅マエ・旅ナカ・旅アトを通じて、観光客の興味・関心や文化資源への理解を深める補助コンテンツとして効果的に利用できる内容となっているか。	10	
実現性	【業務の実現性】 提案内容がスケジュール・体制の面で現実的に実施可能か。	10	10
経費の妥当性・継続性	【経費の妥当性】 本事業に真に必要な機能が適切に搭載され、費用対効果の考え方が妥当か。継続的に運用できる仕組み（ランニングコストが適切な水準に抑えられているか、専門知識、作業工数を過度に要さない運用）として整理されているか。	15	15
		100点	

※1 評価点の最低基準点は満点の6割とし、これに満たない者は選定の対象外とする。

※2 申請書の不備により記載内容が確認できない場合は、該当する評価項目を0点として取り扱う。

※3 最優秀提案者となるべき評価点の最も高い者が2人以上あるときは、技術点が高い者を最優秀提案者とする。